

2-2 要約文&キーワード (meta description, meta keywords)

検索エンジンにページの情報を伝えるためのmetaタグ、「meta description」「meta keywords」について解説します。

meta descriptionのチューニング

```
<meta name="description" content="全角120文字前後の文章" />
```

description内の文章は、検索結果画面に表示される説明文(スニペット)として利用されるため、ユーザーがページを選ぶ際のファインダビリティ向上につながります。この要素には、ページの内容を要約した文章を記述します。

ユーザーの利便性を高めるような文章を記述してください。

Googleはdescription内の文章をランク付け要因として用いていませんが、各ページのdescriptionが重複している場合、ウェブマスターツール上で警告を行う場合があります。

Googleが重視しているユーザーの利便性につながるよう、できる限り、すべてのページのdescriptionがユニークになるようにしましょう。

- 1 基本は全角120文字前後。文字数が少なくても問題ない。
- 2 各ページでdescriptionが重複しないようにする。



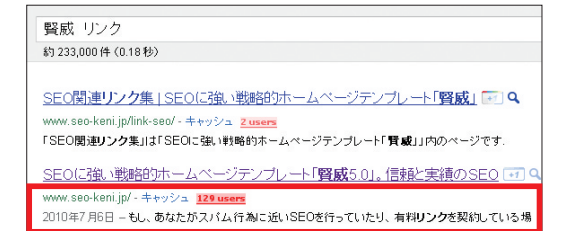
自動で割り当てられるスニペットについて

キーワードによっては、こちらが設定したdescriptionと異なる文章が表示されることがあります。

それらの文章は、Googleによって、該当ページのHTMLソースの中から自動抽出されたもので「自動のスニペット」と呼ばれています。この自動のスニペットは、「…」という形で文末が省略されて表示されます。この仕組みにも、Googleが大切にしているユーザーの利便性を向上させる意図があります。

もし、「SEO」というキーワードにSEOに関するページがあるとして、元々設定されているdescriptionが「SEO」に関するものであれば、「SEO」というキーワードで検索された際のファインダビリティは期待できますが、もし、そのページでたまたま取り上げた「ダイエット」に関する内容が評価され、「ダイ

エット」という予想もしなかったキーワードで上位表示した場合、「SEO」というキーワードに特化したdescriptionでは、ファインダビリティを損ねてしまいます。その場合、Googleは本文中にある「ダイエット」という言葉を探し、その前後にあるテキストを使って、自動でスニペットを作るのです。



上記は弊社の管理ページ「賢威」のサイトで見られた自動スニペットの例。「賢威 リンク」というキーワードで2つのページがヒットしたが、2つ目に表示されているTOPページに関しては、スニペットに「リンク」という言葉が入っていなかったため、Googleが自動でスニペットを抽出・表示。

meta keywordsのチューニング

```
<meta name="keywords" content="キーワード1,キーワード2,キーワード3" />
```

そのページが、何のテーマについて書かれているかを示すキーワードです。半角カンマ区切りで設定します。この要素にキーワードを詰め込んでも、ランキングの上昇にはつながりません。

むしろ、キーワードを詰め込むことで、「あざといSEO行為を行おうとしているページ」として認識される可能性がありますので、キーワードは詰め込み過ぎないようにしてください。3~5語程度が良いでしょう。

そう書くと、<meta keywords>というタグを

設定するメリットが無いように思われるかもしれませんが、弊社では、ページごとにkeywordsをできるだけ設定するようにしています。

そうすることで、各ページがどんなキーワードでSEOされているかが分かり、複数の担当者でサイト運営を行う際、SEO戦略が進めやすくなります。

B	C
URL	keywords
http://www.seo-keni.jp/	賢威 SEO keni
http://www.seo-keni.jp/google/	google, グーグル SEO
http://www.seo-keni.jp/seo-template/	HPテンプレート, ホームページテンプレート, WordPress SEO
http://www.seo-keni.jp/consulting/	SEOコンサルティング, SEOコンサルタント
http://www.seo-keni.jp/contract/	お問い合わせ, お申し込み, SEOコンサルティング
http://www.seo-keni.jp/matsugawa-profile/	松尾茂樹, 松尾シゴキ, 賢威

各ページのkeywordsをExcelを用いて管理。